



## 平成25年度 学校評価について

昨年(平成24年)の12月、保護者の皆様には、「平成25年度の教育活動についてのアンケート」をとらせていただきました。御協力をいただき、まことにありがとうございます。

併せて、子供たちにも今年度の学校生活についてのアンケートを実施しました。

その後、これらのアンケート結果も参考にしながら、学校としての自己評価を行い、学校関係者評価委員(学校評議員)の皆様からも御意見をいただき、来年度へ向けて教育目標達成へ向けた教育活動の改善策を立てました。

そして、3月10日に行いました学校説明会において、この学校評価について報告させていただくとともに、来年度の本校の教育の概要について説明させていただきました。

今回の学校通信において、この学校説明会で報告および説明させていただいたことについて、下記のとおり、お知らせいたします。なお、来年度の教育の概要につきましては、来年度になってから若干、変更する点が出てくるかもしれませんが、御了承ください。来年度4月の保護者会にて、また、あらためてお伝えいたします。

今年度も残すところ、あと2週間となりました。子供たち1人1人が安心して年度末を迎え、進級する新年度への期待をもつことができるよう、全教職員で心を合わせ、指導にあたってまいります。

今後とも本校の教育活動推進にあたり、皆様の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### ○平成25年度 学校評価報告

- (1) 学校の自己評価に対する学校関係者の皆様の意見と意見を踏まえた改善策
- (2) 参考資料
  - ①保護者アンケート集計結果
  - ②保護者アンケート(自由記述)結果報告
  - ③児童アンケート集計結果

## 学校の自己評価に対する学校関係者の皆様の意見と意見を踏まえた改善策

この改善策は以下のような手順で作成いたしました。

- ・全教員が「評価する観点」に沿って、今年度1年間の教育活動を振り返り、「学校の自己評価の成果指標」により評価を行った。
- ・全教員の評価結果を平均化し、それぞれの「評価する観点」に沿って、改善策を立てた。
- ・学校関係者評価委員（学校評議員）の皆様、学校の自己評価の結果と改善策を示し、それらが適切であるかどうか評価いただくとともに、自己評価及び改善策に対する御意見をいただいた。
- ・学校関係者評価委員（学校評議員）の皆様からいただいた評価と御意見を踏まえ、最終的な改善策を立てた。

\*なお、学校の自己評価にあたり、保護者の皆様のアンケート、児童のアンケートも参考にさせていただきました。

\*下表の「成果指標」は学校の自己評価の成果指標の平均、「学校関係者による評価」は学校関係者の方の評価の平均を示しています。

### 学校の自己評価の成果指標

A…できた B…ほぼできた C…あまりできなかった D…できなかった

### 学校関係者の皆様の評価の指標

A…自己評価は適切である B…自己評価は概ね適切である C…自己評価はやや不適切である D…自己評価は適切とはい

#### 1 児童一人一人が主役として活躍の場がある学校

評価する観点	成果指標	学校関係者による評価	自己評価及び改善策に対する学校関係者の皆様の主な意見	学校関係者の皆様の評価を踏まえた改善策	
児童の自己肯定感を高めるとともに、一人ひとりの良さを把握し、認め、いじめや不登校のない学校を目指す。					
1	児童一人一人のよさを認め、励まし、賞賛する機会を様々な教育活動の場面で設定できた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員は努力していると思う。</li> <li>・教員は、子供たちに対し、表情も伴った言葉掛けをしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の学習や委員会活動、学校行事などを通して一層、子供たちのよさを認め、褒め、励ましていきます。</li> <li>・様々な方法で子供たちのよさを見取り、賞讃の声かけ等さらに行っていきます。</li> </ul>
2	家庭との連携をし、児童のよいところについて情報を提供し、トラブルが起きたときは、共通の認識で指導を行うことができた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭では気付かない長所を面談で伝えられ喜んでいただいていた。保護者と担任の関係の潤滑油にもなっているようだ。今後も続けてほしい。</li> <li>・細かく気配りしてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、電話や連絡帳などで、保護者との連携を一層図り、個人面談や保護者会の場で共通の認識をもつことができるようにしていきます。</li> </ul>
3	心のふれあい相談員や生活支援員、または専門機関等との連携を密にし、適切な指導・助言、支援を行うことができた。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や児童、教師との相性もあるので、心のふれあい相談員、養護教諭のみならず、他のクラスの担任からの児童への声掛けなども有効だと思う。情報は共有してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を要する子供たちについては、特別支援教育コーディネーターを中心に、関係者も交え、一層、細やかに相談や支援を行っていきます。</li> <li>・教職員一人一人が子供たちを受容的に受け止め、子供たちが相談したいときに相談ができるような体制を構築し、かかわりをより強くしていきます。</li> </ul>

4	いじめや不登校の兆候を見逃すことなく、迅速かつ適切に対応することができた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり意識しているか分からない。</li> <li>・正確な情報の把握がまず必要と思うが「疑わしい」段階からの見守りを願いたい。</li> <li>・児童は接する大人により態度を変えることがある。情報の共有が大切。</li> <li>・努力していることと思う。結果がよい方向になればよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回のふれあい月間を活かし、取組を充実させるとともに、情報を学年などで常に共有するだけでなく、様々な機会を通して、学校全体でも情報を共有できるようにしていきます。</li> </ul>
---	---------------------------------------	---	---	---	---

生活指導にかかわる重点指導内容の徹底、道徳教育の充実、異学年間の交流活動等を通して相手の立場を考え行動できる児童を育成する。

1	生活指導上の重点指導内容について、共通の認識をもち、継続して指導をすることができた。	B	A	特にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、生活指導主任、看護当番の教員を中心に、生活指導上の重点指導内容を確認し、より一層、全教職員がその指導方針や内容を共有して、指導にあたっていきます。</li> </ul>
2	道徳の授業を計画的に行い、道徳教育の推進・充実を図り、互いに認め合い尊重し合う心を育んだ。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力している。</li> <li>・児童が興味をもつことができる授業がもっとあるのではないかな。</li> <li>・副読本だけでなく、国際貢献やボランティアの話題も教材にしたり、子供たちにディベートをさせたりして、時事問題に興味をもたせたり、自ら考えたりする授業をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間の指導法について、校内で教職員が研鑽を積む機会を意図的に設け、道徳授業の質の向上と指導法の改善・充実を図っていきます。</li> <li>・道徳教育推進教師を中心に、年間指導計画に基づいた意図的・計画的な指導を一層行い、児童の心を育てていきます。</li> </ul>
3	気持ちよく生活するために、あいさつや言葉遣いの取り組みを、学級・学年・学校全体で行った。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遣いは児童によって差が大きい。</li> <li>・保護者も来校時、通学途中で児童に声をかける。PTAだよりでも働き掛けるとよい。</li> <li>・保護者も言葉遣いに気を付けるとよい。家庭も巻き込んだ取組が必要だと思う。地域でも気を付けていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や言葉遣いについては、学校全体で計画的に取組を行うとともに、保護者の皆様にも御理解、御協力をいただきながら、児童の意識高揚を図ってまいります。</li> <li>・正しい言葉遣いをしたり、相互の伝え合いを円滑に行ったりするために、各家庭とも連携を図りながら、教職員が率先して範を示していくとともに、掲示物等も含めた校内の言語環境の整備を行っていきます。</li> </ul>
4	思いやりや、相手の立場になって考えられるような心が育つように、異学年の交流授業や遊び、近隣の学校・施設との交流の機会を設けた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内では異学年交流の機会があるようだが、登校班の活動は減少傾向にあると感じる。改善策を期待している。</li> <li>・登校班での交流をもてる機会を増やしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異学年での交流は、これまで通り学習活動や学校行事の場を通じて、一層、充実を図ってまいります。</li> <li>・異学年での交流を推進するために、登校班等を活用し、集会活動や遊びの機会を意図的に増やすことで、交流し、互いにかかわり合う場を設けていきます。</li> </ul>

生命尊重の心を育み、集団の一員として規則を遵守できる児童を育成する。

1	日々の教育活動を通じて、いじめ撲滅へ向けた取組を実践できた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年によって差があるように思う。</li> <li>・具体的な施策が知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では、今後もふれあい月間での取組をはじめ、児童の活動によるいじめ撲滅へ向けたアピール、道徳教育の充実、相談体制の確立等に取り組み、いじめ撲滅へ向けて尽力します。</li> </ul>
2	学級経営や学習指導等において、規則を遵守し、規律ある学校生活を送ることの大切さを指導する機会を計画的に設けた。	B	B	特にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が規則を遵守し、規律ある学校生活を送るために、「北原の一日」の内容について、見直しを図るとともに、教職員が熟知し、共通した理解の下、発達段階に応じた児童への指導を一層、徹底していくようにします。</li> </ul>

## 2 教職員が一体となって、児童のために力を発揮しようとする活力のある学校

	評価する観点	成果指標	学校関係者による評価	自己評価及び改善策に対する学校関係者の皆様の主な意見	学校関係者の皆様の評価を踏まえた改善策
指導方法の改善・工夫を行い、児童にとって楽しく、魅力ある授業づくりにつとめることで、基礎・基本の定着、体力の向上を図る。					
1	3年生以上の算数科において、習熟度や学習課題に応じた少人数指導で、児童一人、一人の実態に応じた学習活動を展開することができた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年ぐらいになると理解度の差が大きくなっていると思う。クラス分けが肝心である。</li> <li>・クラス分けは適切に行われているのではないか。</li> <li>・少人数指導は有効である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、児童の実態を踏まえ、単に学習集団数を増やすだけでなく、習熟度別や学習課題別の学習集団編成をしっかりと行い、児童一人一人に対して、きめ細やかな指導をまいります。</li> </ul>
2	学力調査の結果や昨年度の状況を踏まえ、授業改善推進プランの加筆修正を行い、日常の授業の充実に生かすことができた。	B	A	特にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、児童の学力状況を把握し、実態に応じた授業改善推進プランを作成するとともに、引き続き、日常の授業に生かしていきます。</li> </ul>
3	校内研究を通して、体育科授業での「体力づくりの運動」の取組を柱とし、運動に親しませ、運動の機会を多く設定し児童の体力の向上を図ることができた。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育朝会に期待している。</li> <li>・今後も体力作りを行ってほしい。</li> <li>・クラスの連帯感も育つので大縄大会は継続するとよい。他校ではなわとび大会等もあると聞いている。</li> <li>・運動会の児童の動きを見て、先生方が熱心に的確な指導をしていると感じた。</li> <li>・休み時間等、強制的でなくマラソンなどが広がるとうい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、体育科の学習や休み時間の外遊び、集会活動等を中心に、意図的・計画的に児童の体力向上を図ってまいります。</li> <li>・学校便り等で、児童の体力向上へ向けた取組を紹介し、保護者の皆様にも運動の大切さをより意識していただくとともに、家庭でも外遊びなどできることに取り組んでいただくようにします。</li> <li>・毎月第2土曜日の土曜授業の日に、新たに体育朝会を実施し、年間を通して、児童に身に付けさせたい体力を踏まえ、計画的に様々な運動に取り組ませていきます。</li> </ul>
4	児童が、考えたり判断したり表現したりする場面を多く取り入れた学習活動を展開することができた。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究(平成22年度まで)を生かし、引き続き、書く活動を行ってほしい。</li> <li>・時間がない中での取組は難しいと思うが続けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでも意図的に、学習活動の中で、児童が考えたり、判断したり、表現する場を設定していましたが、さらにその充実を図るよう、授業づくりや授業展開、活動の工夫に努めてまいります。</li> </ul>
5	様々な学習活動において、計画的に学校図書館を活用することができた。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間の図書館利用はできているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度、配置される学校図書館支援員の方と連携を密にし、より学校図書館の活用がなされるようにしていきます。</li> </ul>
教員一人一人が意欲的に研修に取り組み、自らの指導力、授業力、対応力を向上させる。					
1	互いに授業を見合い、学び合うことで指導力や授業力の向上を図ることができた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員によって指導に差があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も教員の力量形成のために、互いに授業参観や校内での研修会を行い、日々の指導を通して、指導の在り方や指導方法、児童理解等について学び、実践に活かしていきます。</li> </ul>
2	機会を見付け、積極的に校外での研修に参加し、研鑽を深めるとともに、学んだことを校内の教職員へ還元することができた。	B	B	研修会等の資料は、共有するとよい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も各教員が校外での研修で学んだことを、様々な方法で全教職員に還元できるようにしていきます。</li> </ul>
3	OJT組織を生かして、互いに学び合うことができた。	B	B	特にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度計画した案を、より具体化していきます。主幹教諭を中心に主任教諭一人一人が責任をもってOJT(On The Job Training)を推進していきます。</li> </ul>
4	教材研究を十分に行い、教具等を工夫し、効果的な指導を行うことができた。	B	B	特にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、児童の実態を踏まえ、児童にとって分かりやすく楽しい授業が展開されるよう、日々、教材研究や教材開発に尽力していきます。</li> </ul>

5	学習指導要領の趣旨を踏まえ、各教科・領域の改訂のポイントを理解した上で、指導を行うことができた。	B	B	特にありません。	・今後も学習指導要領の趣旨を踏まえ、一層、充実した学習活動が展開されるよう、常に内容確認等を行い、日々の授業実践を行っていきます。
---	--	---	---	----------	---

### 3保護者や地域の人々等とのかかわりを強固にし、協働して児童を育む学校

評価する観点	成果指標	学校関係者による評価	自己評価及び改善策に対する学校関係者の皆様の主な意見	学校関係者の皆様の評価を踏まえた改善策
--------	------	------------	----------------------------	---------------------

#### 保護者、地域社会、関係機関等との連携を密に行い、開かれた学校づくりを進める。

1	PTAの活動や地域行事、健全育成行事等に積極的に関わりをもち、参加した。	B	A	・忙しいなか、時間をいただき、すみません。これからもよろしくお願ひしたい。 ・PTAの行事に参加できる教員は決まっているような気がした。 ・来ていただくと、児童の関心も高まります。	・今後も可能な限り、多くの教員がPTA活動や地域の行事等において、協力してまいります。
2	保護者や地域の人々の力を活用し、教育活動の充実を図った。	B	B	・年度始め、担当教員が代わる場合が多いので、特に農園は早めに時間をとって、打ち合わせを行ってほしい。草取りには保護者の協力も必要だと思う。	・次年度も、これまで御協力をいただいている農園活動や高松サービスセンターへの訪問活動等において、地域や保護者の皆様とのかかわりを深め、一層、活動の充実を図っていきます。 ・地域の教育力の活用を目指して、学校で「外部講師一覧」を作成し、本校の様々な教育活動において御協力、御支援をお願いするようになっています。
3	学校便りや学年・学級便りの配布、ホームページの更新をして保護者や地域の人々への情報提供をした。	B	B	・ホームページをもっと活用するとよい。保護者の中にはホームページの存在を知らない方も多い。 ・ホームページのPRをするとよい。 ・学年、学級だよりが、きちんと出されていてありがたいです。	・今後も本校の教育活動の様子について、学校便りや学年便り、本校のホームページ等でお知らせし、学校にかかわる様々な情報を提供してまいります。また、ホームページについては、より閲覧していただけるよう内容の充実に向けて尽力してまいります。

1	近隣の幼稚園や保育園との交流の機会を積極的に設けることができた。	C	B	・いろいろな制約をクリアしながら、幼稚園・保育園、中学校の子供たちと交流できると、子供たちが地域のつながりを意識できると良いと思う。 ・この改善策で良いと思う。 ・学区内の幼稚園等の子供か先生に来てもらえると低学年の児童の意識が変わると思う。1年生が案内するというのも素晴らしい活動だと思う。 ・幼稚園、保育園児との体験授業ができるとよいと思う。 ・就学時健康診断時に、案内を私、その後の土曜授業等を見学にしてもえるようにするとよい。管理職が話をするのもよい。	・次年度、近隣の保育園、幼稚園との交流については、年間の行事予定等も踏まえながら、交流の意義について保育園や幼稚園へ御理解いただく場を設定して、交流活動の実現につなげていきたいと考えております。
2	幼稚園や保育園、中学校の教職員間での授業・保育参観や、交流のきっかけを積極的に設定し、共通の理解の下、交流活動を推進した。	C	B	特にありません。	・本校として、できる限り保育園や幼稚園へ情報提供を行い、交流活動の実施に向けて、その契機をつくっていきます。

3	隣接する谷原中学校との交流活動を計画的に行うとともに、活動内容の充実を図った。	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷原中の体験授業は、5年生に機会があってもよいのではないかと。進路を決める児童もいるため。</li> <li>・実現できるとよい。参加者を幅広くするとよい。</li> <li>・育成委員会と谷原中学校共催の講演会の内容は、高学年が聴いても良い内容である。そのような機会も活用してはどうか。</li> <li>・可能ならば合同地域清掃を復活させてほしい。吹奏楽部の演奏は良い考えだと思える。</li> </ul>	・今後も、谷原中学校と連携を図りながら、様々な機会を通しての交流活動を行ってまいります。
---	---	---	---	---	--

#### 4 児童が安心して、楽しく生活ができる学校

○児童が安心して生活を送るため、学校内外での危機の予測ができた確かな対応ができる。

評価する観点	成果指標	学校関係者による評価	自己評価及び改善策に対する学校関係者の皆様の主な意見	学校関係者の皆様の評価を踏まえた改善策
--------	------	------------	----------------------------	---------------------

#### 健康の維持・増進、体力向上に進んで取り組む活動を行う。生活指導

1	食育について計画的に授業を実践し、指導の充実を図ることができた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食日よりはいつも楽しく読ませてもらっている。他の保護者の皆さんも読んでいるのでしょうか。子供といっしょに読むようにしている。</li> <li>・給食の中で人気のあるメニュー等、いくつかレシピを紹介し、家庭でも子供と話せる機会を設けられるようにするとよい。</li> <li>・給食時に一つでもよいので、その日のメニューか食材について、担任が児童に話をしてほしい。</li> </ul>	・次年度も、作成した食育年間指導計画に基づき、全学年において計画的に指導を行っていきます。
2	全校で体力向上にかかわる共通の目標を設定し、意図的・計画的に活動内容を考慮し、集会等で取り組むことができた。	B	B	特にありません。	・これまでの取組を活かし、北原小学校の児童にとって体力面で目指すべき姿を設定し、体育科の学習だけでなく、全校で様々な場面を通して、運動に親しみ、関心をもち、積極的に取り組むことができるような活動を実践していきます。
3	全校で健康安全・衛生に関わる取組を意図的・計画的に行うことができた。(朝会や集会等での取組)	B	A	・児童の虫歯になっている割合、治癒率はどれぐらいなのか。家庭との連携を継続して深めてほしい。	・今後も保健便り等で保健・衛生などにかかわる情報を提供してまいります。また、次年度から、これまで実施されていなかった学校保健委員会を設立し、教職員の代表や学校医の先生方、保護者の代表の方で児童の健康保持・増進について、意見交換等を行う場を設定します。

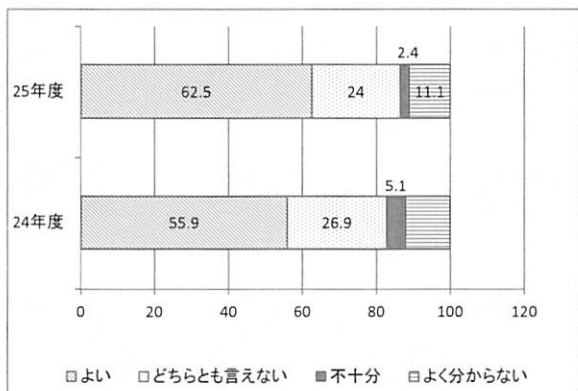
#### 学校の内外での安全な過ごし方に関する指導を徹底する。

1	セーフティ教室、交通安全教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教室等、健康・安全にかかわる指導の場を計画的に設けて児童の安全に対する意識を高めた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティ教室等、保護者の参加者が少ない。(催しによっては)</li> <li>・「社会を明るくする運動」の作文コンクール等への参加もできるとよい。</li> <li>・PTA主催の「くろねこやまと交通安全教室」を土曜授業の時にできないか。</li> <li>・児童の安全に対する意識は、児童アンケートでは守れていると思うものが大半だが、不注意な横断、ゲームをしながらの自転車の走行などが見られる。もっと危機感をもって指導をした方がよい。</li> </ul>	・セーフティ教室や薬物乱用防止教室、情報モラル教室等、実施内容や時期について、関係機関とも十分に協議し、より移動の安全等に対する意識を高められるような内容にしていきます。
2	安全指導日の指導内容について、工夫し、わかりやすく、かつ発達段階に応じた指導ができた。	B	B	・学校での安全指導の内容を家庭にも知らせてほしい。	・各学級において、計画的に行っていたので来年度も継続していきます。

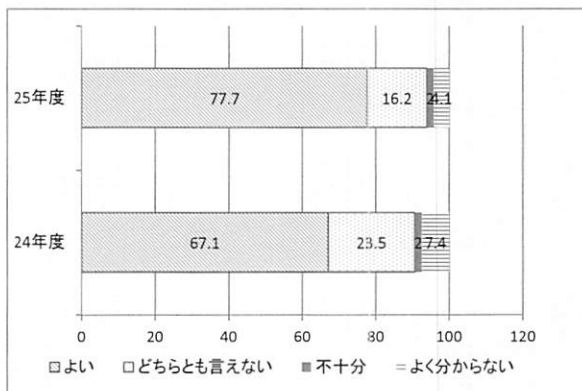
平成25年度 教育活動についてのアンケート(保護者) まとめ〔平成24年度との比較〕

\*数字は、設問に対する答えを百分率で示したものです

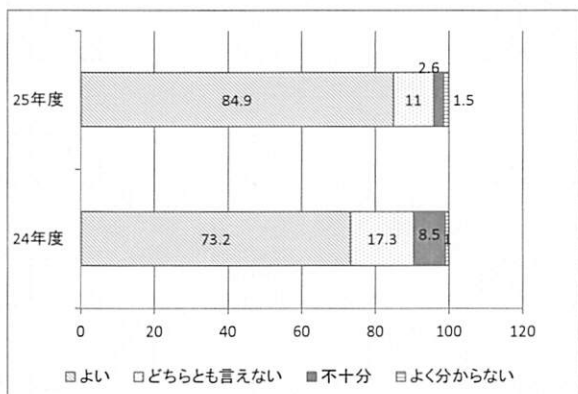
1 学校は、子供たち一人一人のよさを認める教育活動に取り組んできましたが、いかがだったでしょうか。



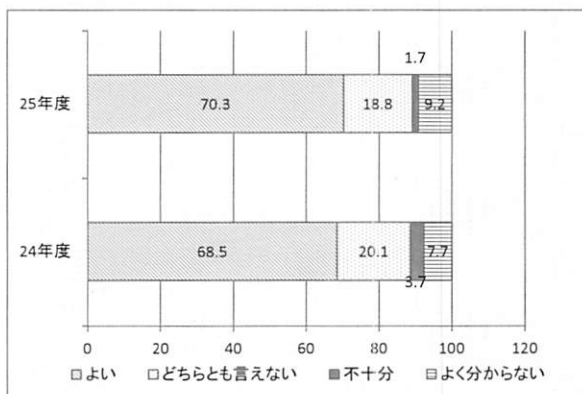
4 学校行事は、開催時期、内容、回数等、子供たちの実態や保護者・地域の方々の声を聞き、適切なものとなるように努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。



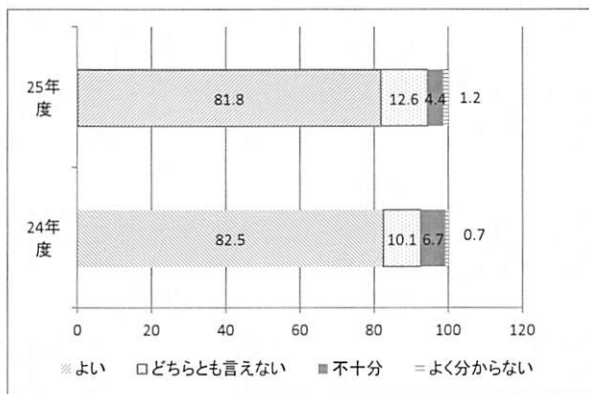
2 学校だより、学年便り・学級便り、学校ホームページ等で、子供たちの様子や学校の取組を少しでも分かりやすくお知らせしようと努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。



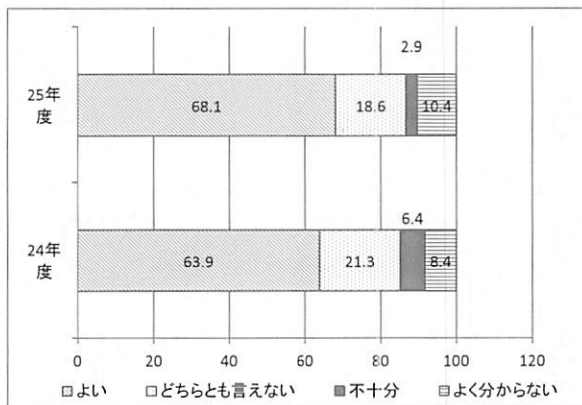
5 学校では、子供たちのために環境衛生の管理や健康の維持増進に関する指導等を行ってまいりましたが、いかがだったでしょうか。



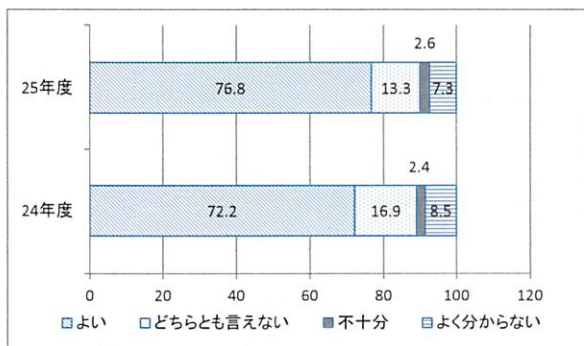
3 学校公開、保護者会、三者面談・個人面談等で、お子様の様子をお伝えしたり、共通理解を図るよう努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。



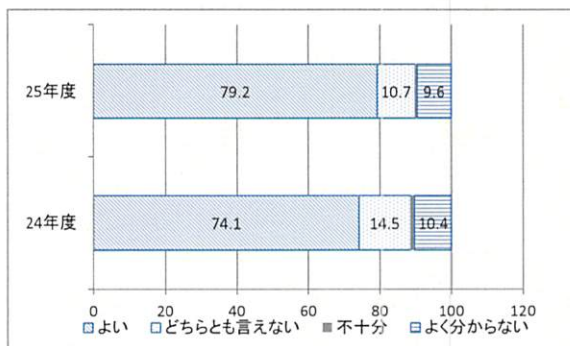
6 学校では、保護者の皆様の相談や子供たちのトラブル、事故・けがなどに迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。



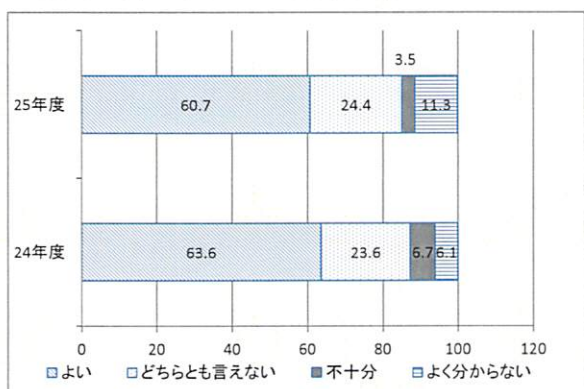
7 学校では、子供たちの安全を守るために、情報を提供したり、施設・設備の改善や適切な対応に努力してまいりましたが、いかがだったでしょうか。



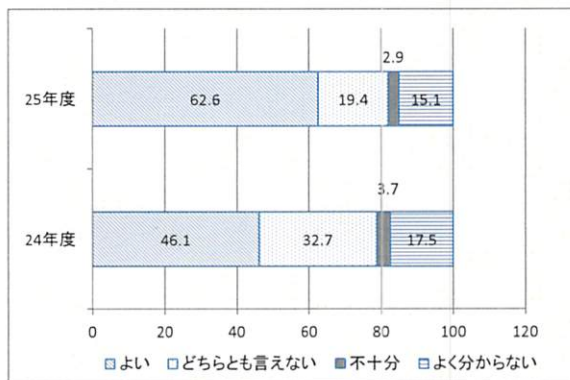
10 1・2年生の生活科および3年生以上の総合的な学習の時間で、地域の特性や教育力を生かした指導に努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。



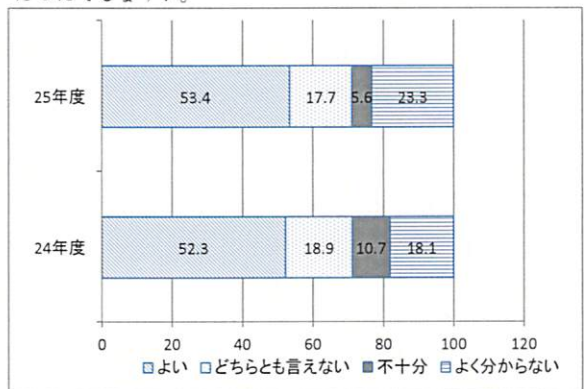
8 子供たちが関心や意欲をもって学習に取り組むよう、教材や指導法を工夫し、分かりやすくきめ細やかな授業づくりに努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。



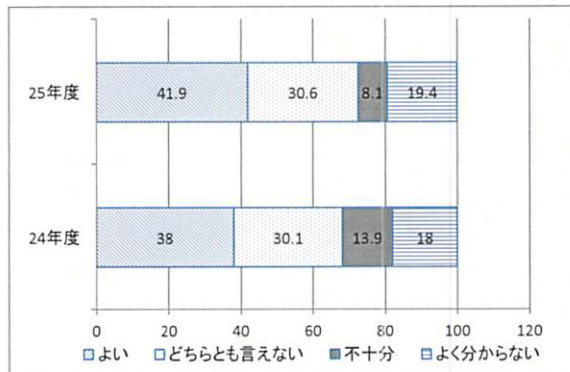
11 学校では、子供たちの体力向上を目指し、体力テスト等の結果を生かしたり、校内での授業研究を中心に指導に努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。



9 3年生以上の算数科における少人数指導、5年生以上の外国語活動等、指導法を工夫し、子供たちが楽しく、しっかりと学習内容を身に付けることができるよう努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。

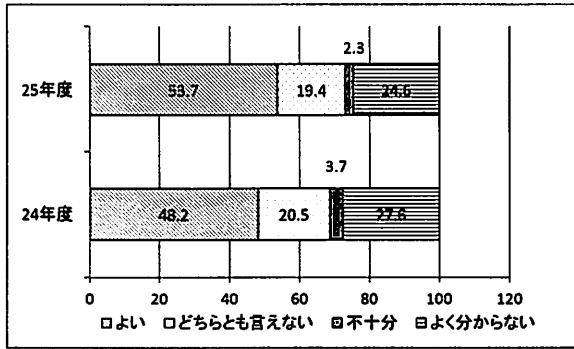


12 学校では、子供たちの誤った行動やいじめ・暴力を見逃さず、全教職員で適切な指導に努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。

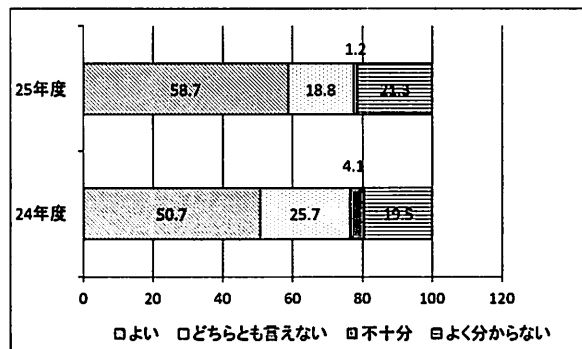




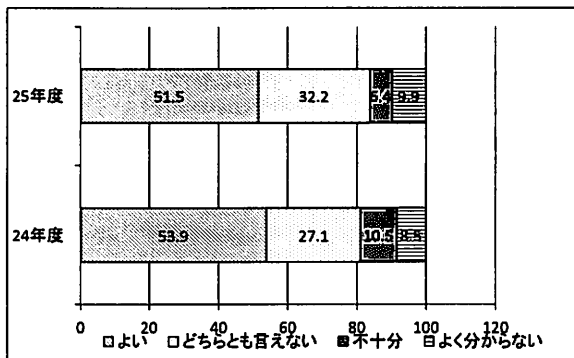
13 学校では、心のふれあい相談員や生活支援員とも連携し、子供一人一人に寄り添い、子供たちの指導にあたるよう努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。



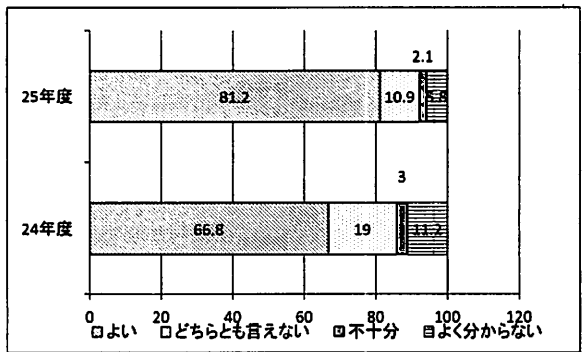
15 道徳の時間の指導や道徳地区授業公開講座において「心の教育」の充実とその理解に努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。



14 全教職員で、挨拶や言葉遣い等、基本的な生活習慣の定着を図る指導を行ってまいりましたが、いかがだったでしょうか。



16 学校では、子供たちが食生活に関心をもち、規則正しい食事、栄養バランスや食事量への配慮等、健康的な食習慣が形成されるよう指導に努めてまいりましたが、いかがだったでしょうか。

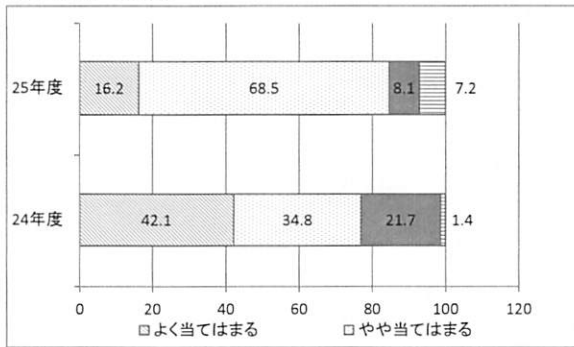


〔考察及び今後の改善〕

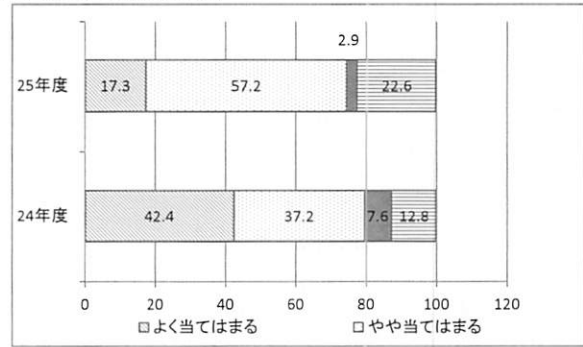
ここでは、昨年度と比較し「よい」が下がっている項目、「よい」の回答が70%に満たない項目について述べさせていただきます。

- 様々な場面で子供たちを「褒める」ことが十分ではない、または「褒めている」ことが伝わっていないことが要因の一つであるかと思えます。子供たちに寄り添い、個々の子供たちの良さに気づき認めていく姿勢を全教職員で大切にしていきます。
- 個々のケースによって捉え方は異なりますが、学校内での報告・連絡・相談をより綿密かつ迅速に行い対応することが求められていると思っております。また、教員一人一人の危機管理意識を高めてまいります。
- この後のアンケート項目の学習意欲とも関連しています。学習意欲については昨年度と比較すると数値も下がっていました。改善するために、学年で指導法や指導内容について十分に検討し、教員一人一人の指導力向上に努めてまいります。
- 算数少人数指導はその良さが十分に生かされていないかと思えます。算数少人数においてはその特性を生かし、子供たちの習熟の度合いに応じたグループ編成などを十分に検討し、来年度取り組んでまいります。外国語活動についても外国語活動指導員と教員との連携を更に図ってまいります。
- 引き続き、体育朝会や休み時間の体力向上の取組を進めてまいります。内容も工夫してまいります。
- 平成24年度に引き続き、「よい」と御回答いただくことが最も少ない項目です。来年度に向けて現在、北原小学校いじめ防止基本方針を策定しているところです。教職員全体で共通理解を図り、具体的にいじめ防止・いじめ撲滅に取り組むことができるようにしてまいります。
- 「よく分からない」という御回答も多い項目でした。心のふれあい相談員に加え今年度はスクールカウンセラーも配置されました。このことを生かし、子供たちの心の部分を支えることができるよう、教員が心のふれあい相談員やスクールカウンセラーに相談をしながら子供たちに対応してまいります。
- この後のアンケート項目の挨拶や言葉遣いも十分な結果とはいえませんでした。御家庭と協力しながら生活指導の重点として平成26年度も取り組んでまいります。
- 「よく分からない」という御回答も多い項目でした。来年度は、道徳について校内研究に取り組みます。道徳の授業改善を重視してまいります。

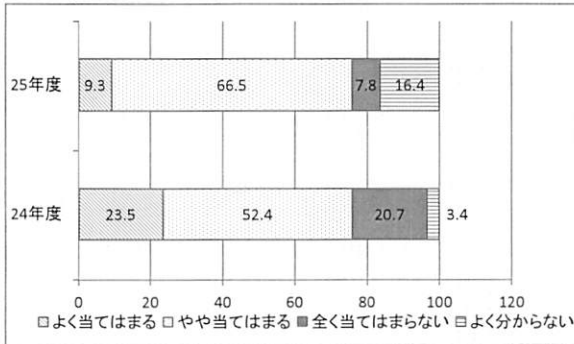
1 あいさつができる。



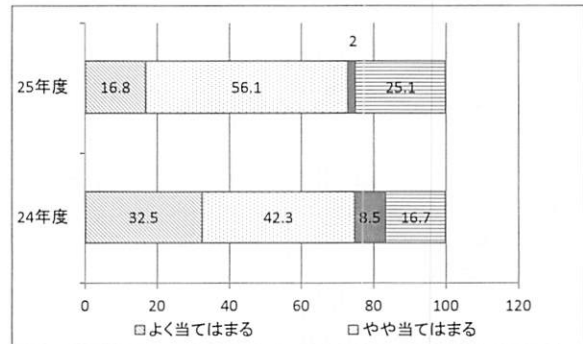
4 学習に対して意欲がある。



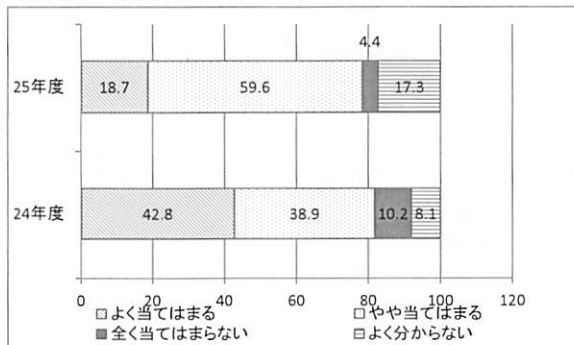
2 適切な言葉遣いができる。



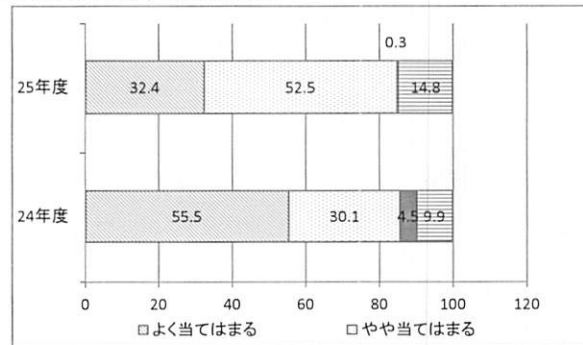
5 学習に対して粘り強く取り組んでいる。



3 きまりや約束事を守っている。



6 優しい心や思いやりの心がある。



〔考察〕

・全ての項目において、共通していることは、24年度と比較し「よく当てはまる」という回答が減っているという点です。特に、挨拶については24年度と比べて1/3程度の回答となっています。やや当てはまるは項目によっては、24年度と比較し増加しているものもありますが、全体として、これらの項目について課題があることがうかがえます。このことを真摯に受け止め、次年度の教育活動に生かしてまいります。

挨拶については、平成25年度同様平成26年度も生活指導の重点として取り組んでまいります。新たな取組も行う予定です。日常的に、子供たちにかかわる教職員から進んで挨拶に取り組んでまいります。また、挨拶については、学校のみでなく地域や御家庭でも大切にしていきたいことです。御協力をお願いいたします。

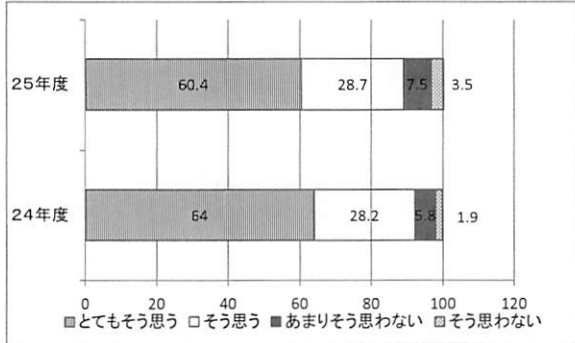
一方、学習意欲に対しては「よく当てはまる」と「やや当てはまる」を合わせても24年度より数値が下がっています。教員一人一人の指導力に課題があることも考えられます。児童が意欲をもち学習に取り組むことができるよう引き続き日常的な研修も行ってまいります。

きまりや約束事を守ることにしても、24年度に比較して、「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせた数値が下がっています。学校の中だけでなく、放課後の遊び方や登下校の際の交通安全にかかわる点で不十分な様子も見られます。学校で指導することはもちろんですが、挨拶同様、地域、御家庭とともに取り組んでまいりたいと思います。

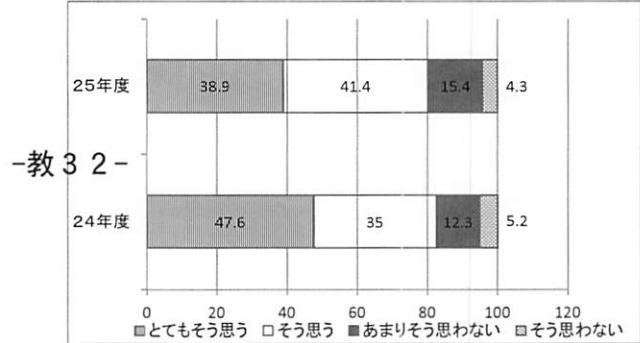
平成25年度 児童アンケート結果〔平成24年度との比較〕

\*数字は設問に対するこたえを百分率で示している。

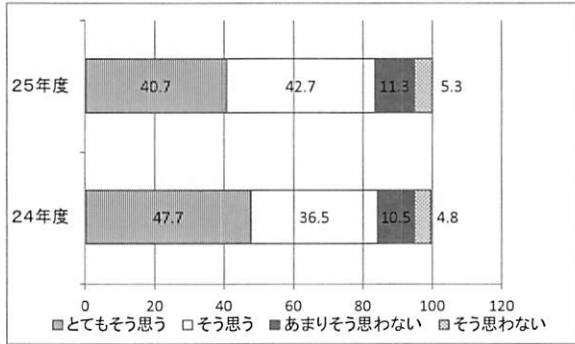
1 学校は、楽しいですか。



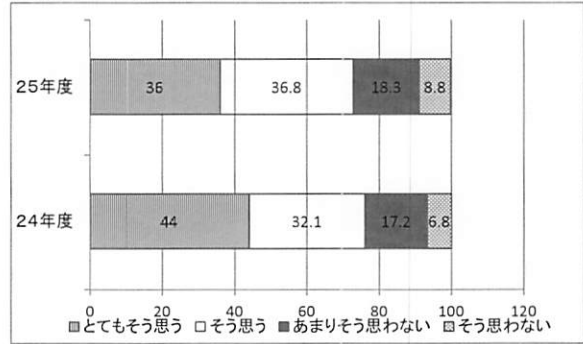
4 自分から進んであいさつをしていますか。



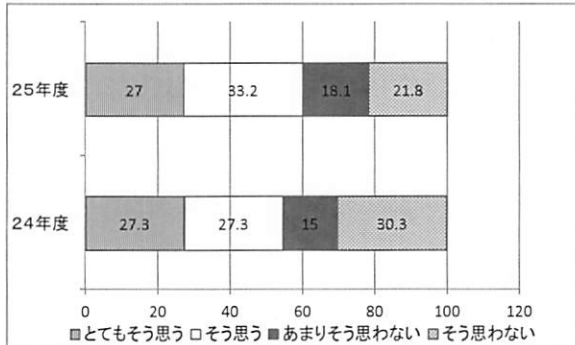
2 学校のじゆぎょうは楽しいですか。



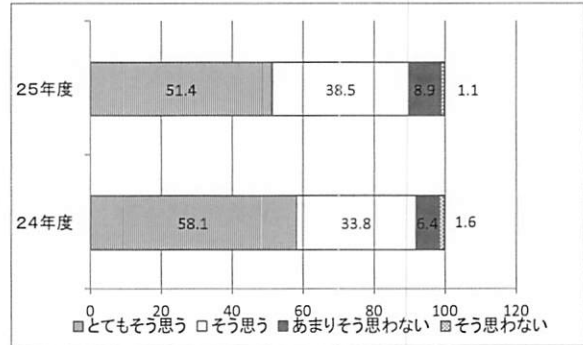
5 言葉づかいに気を付けていますか。



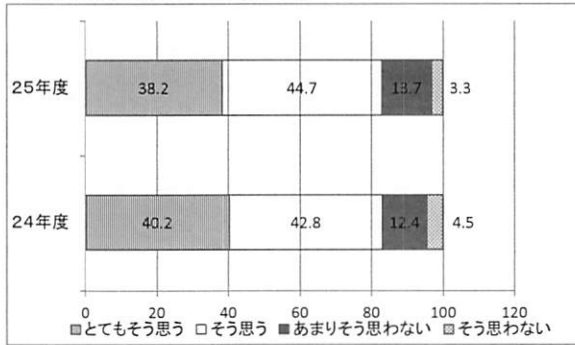
3 こまったときは、先生やさくらんぼ室などにそうだんしていますか。



6 学校のきまりや交通ルールを守っていますか。



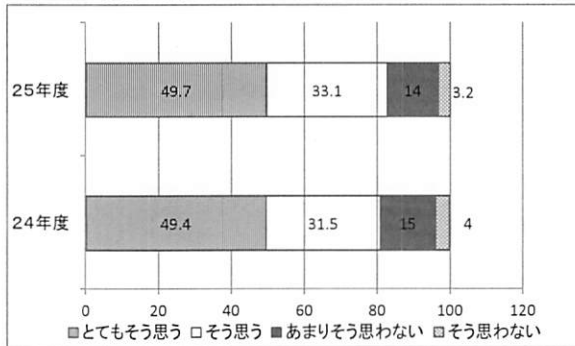
7 自分から進んで学習をしていますか。



〔考察〕

挨拶や言葉遣いについては、子供たち自身も十分ではないと感じている様子が見えます。来年度、重点として取り組む中で、子供たちにも自分を振り返らせ、できるようにしていく指導を行ってまいります。「学校は楽しいですか」の項目において、「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した児童が増えています。どのような要因であるかを個別に確認しながら、それぞれに応じた手立てをとってまいります。

8 むずかしい学習にもあきらめないで取り組んでいますか。



9 友達にやさしくしていますか。

